THOMSON REUTERS
ONESOURCE™

ONESOURCE
Denied Party Screening

取引禁止対象スクリーニング

取引先の顧客とサプライヤーをめぐるセキュリティを強化

国内外のビジネスパートナーに関するスクリーニングは、企業の評判を守り、取引禁止の対象企業に関する規制違反を防ぐ上で不可欠なプロセスです。

ONESOURCE Denied Party Screening は、30万件以上の取引禁止対象者、企業、制裁対象国、禁輸国を網羅した350種を超える国際リストに照らして即時スキャンできるソリューションです。

課題

海外取引に必要なデューデリジェンスをクリア

各国政府の規制を遵守するには、取引禁止対象者および禁輸国、制裁対象国をめぐる貿易規制品目について、適切なプロセスを経て徹底したスクリーニングを行うことが必要です。

国際的な取引禁止対象者リストは多種多様で、各リストの登録法人数は数百・数千件にのぼります。またこうしたリストには変更がつきもので、日次ベースでデータが追加されていきます。このため参照中のリストが最新版であるか否かを判断することすら困難なのが実情です。

ソリューション

ONESOURCE Denied Party Screeningは、既存の企業内システム（ERP/CRM/SRM）とデータを完全に共有しながら、ビジネスパートナーの安全性を検証します。既存のERP/CRM/SRMと一体化することにより、データベースへの新規顧客/サプライヤーの追加/既存データへの変更が生じるたびに、スクリーニングプロセスを自動的に起動します。

導入メリット

既存の企業システム内で自動スクリーニング

- 自社の顧客とサプライヤーを国際的な取引禁止リストに照らして精査することにより、輸出入コンプライアンス・プロセスに不可欠なステップを実行できます。
- 多様な発音照合アルゴリズムにもとづく自動スクリーニングにより、つづりのミスから生じる検索結果の誤りを防ぎます。
- 3種の輸出スクリーニング・オプションから選択可能です
  オンラインポータル経由の個別スクリーニング、
  バッチ処理スクリ ーニングで使用する顧客リストのアップロード、
  既存ERPシステムとの完全一体化
- 各企業に固有のニーズとリスクにもとづきソリューションを設定できます。
- 煩わしい誤検知を無効化することにより、中断のないリアルタイムのスクリーニングを実行できます。
- 検索情報をブロック化して、経営幹部を含む社内の他ユーザに転送し、確認してもらえます。

特徴

規制要件の遵守を簡素化

- 国際取引禁止対象者リストで手作業による氏名や国名の検索を行う必要がなくなります。
- 禁止対象者との取引が原因で非常に高額な罰金を適用されるリスクを最小化し、輸出スクリーニングをめぐる不安を解消します。
- スクリーニング結果の監査証跡を記録することにより、米国商務省およびその他の国際機関が定めるデューデリジェンス要件を満たせます。
- 24時間/年中無休の自動更新機能により、制裁、監視、規制リストの総合的な確認が可能になります。
- 社内システムで記録原本が作成/更新されると、ソリューションが自動的に起動して対象の顧客とサプライヤーをスクリーニングします。

お問い合わせ

.1+230.+/13. marketingjp@tr.com

トムソン・ロイターについて

トムソン・ロイターはビジネスに有効な情報を”活用”できる形でお届けするリーディング企業です。法律xテクノロジー、税務・会計、輸出入管理、FTA、コンプライアンス管理業務に携わる専門家のため、世界で最もグローバルなメディアサービスであるロイターの情報と組み合わせ、専門性の高い情報をご提供しています。

詳しい情報は、thomsonreuters.jpでご覧ください。

© 2020 Thomson Reuters ONESOURCE™